

## 令和 7 年度 羽幌シーバードフレンドリー推進協議会の活動について

羽幌町町民課

## 1. シーバードフレンドリー認証制度の推進について

「海鳥を取り巻く自然環境の保全」と「地域産業の振興」の両立を目指した地域認証制度を運営している。海鳥保護につながるストーリーを明確にするため、令和 5 年度に新制度に移行した。新制度では対象地域を羽幌町内から留萌振興局管内に拡大し、産業別の新認証基準（現在は漁業と耕種農業）へ変更した。

令和 7 年度は、新制度で 2 事業者からの申請を受理し、審査、認証した。また、産業別の新認証基準として、食品加工業の基準作りを進めている。

## ・令和 7 年 11 月現在、6 事業者を認証

認証 1	北るもい漁業協同組合「海鳥に配慮した漁業の推進」（平成 30 年度）
認証 2	上築有機米生産組合「減農薬による水田営農」（平成 30 年度）
認証 3	るもい農業協同組合・ホクレン農業協同組合連合会留萌支所「特別栽培米の販売と CRM による地域への再還元」（令和元年度）
認証 4	株式会社ダイマル乳品「生産者・地域と取組む CSV の実践」（令和元年度）
認証 5	inakaBLUE「持続可能なミズダコいさり漁の実践」（令和 7 年度）
認証 6	中尾ファーム「減農薬によるスイートコーンの栽培」（令和 7 年度）

## 2. 地域の生物多様性を保全する取り組みについて

海鳥を取り巻く自然環境や生物多様性を保全するための取り組みとして、海鳥の混獲モニタリングデータ収集や、天売島黒崎海岸で海岸清掃を実施した。

## (1) 海鳥の混獲モニタリングデータ収集

底刺し網漁による海鳥の混獲については、実態が明らかとなっておらず、防止のための有効な手法も確立されていない。そこで、羽幌周辺での実態把握を主な目的として、漁業者の協力を得て混獲データの収集を行っている。

情報の収集にあたっては、専門家や漁業者との連携により GIS によるデータ収集システムを作成して進めている。

## ◎収集するデータ：ArcGIS Field maps を活用して収集

航跡（日時・緯度経度）、網入れ/網揚げ日時、混獲有無/羽数、漁獲量、使用した網、混獲個体の写真

◎収集体制

漁業者：

- ・ GIS システム上で操業ごとに航跡をとってもらう
- ・ 漁業情報の入力

SBF 推進協議会：

- ・ GIS システムの保守
- ・ 現地漁業者との調整
- ・ 専門家との連携 など

専門家：

- ・ データの解析／混獲防止手法の研究等への活用
- ・ 状況に応じて操業する上で有益な情報を漁業者に還元する など

(2) 海岸清掃の実施

天売島の黒崎海岸において海岸清掃を実施した。

実施日時：令和 7 年 8 月 24 日（日）

参加人数：約 50 名

回収量：1,155 kg